

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻種子を中心に大豆、玉ねぎ、とうもろこし等の生産が盛んな平地農業地域。
- 担い手への農地の集積・集約化が図られているものの、高齢化や後継者不足により耕作放棄地が増加しており、農作業の効率化や担い手の経営強化が課題。

【支援内容・背景】

- 高齢化や後継者不足による農地の引受けに対応すべく、担い手の経営面積の拡大及び担い手の経営強化を支援する必要。
- 助成対象者は地区内で大規模複合経営を営む担い手であり、地域の農地の受け皿として重要な役割を担っている。経営面積は年々拡大しており、併せて輸出用米の取組や高収益作物の作付を実践。このため、本地区における大規模複合経営の経営力強化の取組モデルとして育成・支援。



助成対象者「有限会社泰栄農研」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成27年 法人化(有限会社)
- 平成30年 現代表取締役が就任し、園芸作物の作付面積拡大による経営の複合化をすすめる
- 平成31年 農業経営改善計画認定(法人)
- 令和3年 本事業活用
- " 主穀作JGAP認証取得

《事業活用の背景》

- 経営力強化を図るためには、水稻種子面積の拡大を図りつつ、輸出用米や園芸作物の作付面積の拡大に向け、収穫作業、播種作業等の効率化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R3年度〉

- 売上高 146,856千円
- 付加価値額 45,489千円
- 経営面積 71 ha
(水稻種子、飼料用米、輸出用米、露地野菜(とうもろこし、加工用キャベツ等))
- 輸出用米 4,260kg

《事業による整備内容》

- コンバイン6条1台
事業費 14,500千円
(国費 6,590千円)
- 乾燥調製設備一式
事業費 11,734千円
(国費 5,333千円)
- 野菜播種機、移植機各1台
事業費 5,638千円
(国費 2,562千円)

【現在の経営状況】
〈R6年度〉

- 売上高 200,408千円 **(136%)**
- 付加価値額 88,580千円 **(195%)**
- 経営面積 80ha **(113%)**
(水稻種子、飼料用米、輸出用米、露地野菜(とうもろこし、加工用キャベツ等))
- 輸出用米 18,943kg **(445%)**

事業の
効果

《対象者》 輸出用米や露地野菜の生産量を増加することで付加価値額の拡大を実現。

《地区》 耕作放棄地が増加する中で、地域農業をけん引する経営モデルが確立したことで、本地区の耕作放棄地の発生防止に寄与。